



第10期 中間(第2四半期)報告書
株主のみなさまへ

Coca-Cola CJ



コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

Coca-Cola Central Japan Company, Limited

平成22年9月発行 証券コード：2580

経営理念

お客さまに商品の安全をお約束し、
爽やかさと満足をお届けします。

株主、従業員の期待に応え、
企業価値を高めます。

地域社会に貢献し、
環境の持続的な改善に努め、
良き企業市民を目指します。



CONTENTS

経営理念	1
ごあいさつ	2
販売促進活動	3
広告展開レポート	5
CSR活動	6
株主インフォメーション	7
下半期新製品のご紹介	9
財務ハイライト	10
上半期の営業概況	11
四半期連結財務諸表の要旨	11
経営体制	13
株式の状況	14
会社の概要・株主メモ	裏表紙

ごあいさつ



株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに、第10期上半期(平成22年1月1日から平成22年6月30日まで)の営業状況等につきまして、ご報告申し上げます。

上半期は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが続き、自律的回復への基盤が整いつつあるものの、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念による金融資本市場の大きな変動や、長引くデフレ状況、また雇用情勢においては失業率が高止まりする等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、消費者の節約志向による需要低迷に加え、4月の日照不足・低温多雨といった天候不順の影響もあり、炭酸飲料や紅茶飲料が堅調に販売数量を伸ばしたものの、コーヒー飲料・無糖茶・ミネラルウォーター等、その他全てのカテゴリで前年を下回り、清涼飲料業界全体の販売数量は、前年を2%程度下回る結果となりました。

このような経営環境の中、売上高は減少いたしました。SCM体制の強化による生産・物流面での効率の追求と生産性の向上、ならびに諸経費の圧縮等コスト削減に取り組んだ結果、計画を上回る利益を確保いたしました。上半期の業績につきましては、後掲の「上半期の営業概況」に記載のとおりであります。

また、当期の中間配当につきましては、平成22年8月4日開催の取締役会決議により、1株につき18円とさせていただきます。

下半期につきましても、依然清涼飲料市場における消費環境は楽観視できず、デフレ傾向が続くなど、当社グループにとっても厳しい経営環境が続くものと予想されます。

こうした状況下におきましても、当社の持つブランド力のある商品とサービスを、その価値に見合う適正な価格で販売できるよう「市場価格の正常化」に注力するとともに、全社一丸となった営業活動により競合シェアを奪取することで、売上と利益の拡大を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年9月

代表取締役社長

高橋 顕三

4年に一度の商機であるFIFAワールドカップ™との連動セールス活動を行い、また、新カテゴリー「グラソービタミンウォーター」の投入と街頭サンプリングを実施し、収益およびセールスの拡大を図りました。



FIFAワールドカップ™ EEP活動を展開

CAMPAIGN

サッカー大会の最高峰「2010 FIFAワールドカップ™ 南アフリカ大会」が6月11日から1ヵ月間にわたり開催されました。コカ・コーラはこの世界的祭典の公式スポンサー。開催に合わせて強力なEEP活動を展開しました。



EEP (Executional Effectiveness Project) 活動とは、市場でのマーチャндаイジング活動を効果的に実行する取り組みです。当社では、ワールドカップ幕開けの約1ヵ月前、5月18日にグループ各拠点でキックオフ。最盛期のセールスおよび収益拡大に向けて、コカ・コーラとアクエリアスを核としたアピールを全社一丸となって展開しました。



グラスオー ビタミンウォーター 投入開始

NEW
PRODUCT
&
CAMPAIGN

essential
vitaminwater.
try it.



水分補給しながらビタミンやミネラルを手軽に摂取できる「グラスオービタミンウォーター」の展開が当社エリアでもスタートしました。海外で多くのファンを持つスタイリッシュなドリンクとして、注目を浴びています。

当製品は、3月に神奈川県で先行発売し、4月より愛知県、7月から岐阜・三重・静岡・山梨の4県へと順次エリアを拡大。「新たなチャレンジ」をキーワードに、専任担当者を配置し、販売の拡大を図りました。

街頭サンプリングを実施!

「グラスオービタミンウォーター」の魅力は、ライフスタイルや気分に合わせて好みのフレーバーやカラーを選べる5つのバリエーション。そのインパクトを伝える大規模な街頭サンプリングを実施しました。

当社エリアでは、ゴールデンウィークを皮切りに、横浜・川崎・名古屋の多くの人々が集まるイベントや駅周辺でサンプリングを展開。「今の気分は?」「誰と一緒に来た?」といった質問に答えていただいた方に、その人のその時にピッタリな「グラスオービタミンウォーター」をプレゼントし、人気を集めました。





名古屋駅を 赤く彩ったコカ・コーラ

駅構内を歩けば、コカ・コーラレッドと印象的なキャッチコピーがそこかしこに。4月6日から12日までの1週間、JR名古屋駅の広告スペースのほぼ全てを、コカ・コーラの名古屋オリジナル広告で埋め尽くしました。



ユニークにローカライズされた表現で コカ・コーラをアピール

この広告キャンペーンは、JR東海が発行する「TOICA（トイカ）」に、従来の鉄道運賃精算に加えて電子マネー機能が新たに導入され、駅売店キioskや飲料自動販売機での利用が開始されたことと、JR東日本の「SUICA（スイカ）」およびJR西日本の「ICOCA（イコカ）」との相互利用が可能となったことを広く知らしめるために企画されました。

駅コンコースの柱、連絡通路、新幹線ホーム、エクスプレスボードや、多くの利用客の目を引く高島屋エスカレーター前等、駅全体をコカ・コーラ広告がジャック。「名古屋駅に着いたら、リフレッシュ。」「小銭はない。コカ・コーラは飲みたい。」「タッチひとつで、コカ・コーラ。」といったコピーに、名古屋名物「しゃちほこ」をあしらったデザインなど、ユニークにローカライズされた表現で話題を呼びました。



地域のみなさまに信頼され、必要とされ続ける企業グループを目指して。

コカ・コーラ セントラル ジャパングループは、環境への取り組みはもちろん、地域に密着した事業活動を展開し、みなさまの期待に応え、CSR活動を積極的に推進することで、地域社会とともに持続的な発展を実現したいと考えております。

環境配慮型自販機 「ecoる/ソーラー」岐阜 県内での第1号機を設置

2010年5月13日、岐阜新聞・岐阜放送ハウジングギャラリー岐阜県庁前展示場に「ecoる/ソーラー」自動販売機を設置しました。この自動販売機は、本体の上部にソーラーパネルを設置し、ソーラー発電により夜間照明の消費電力を100%カバーすることができます。ほかにLED照明の使用、ノンフロン・ヒートポンプ機能搭載等、国内最高の省エネ性能を備えています。



環境負荷低減を目指し ハイブリッドトラックを導入

当社グループでは、従来より圧縮天然ガストラックなど低公害車を積極的に導入するとともに、エコドライブの推進に取り組んでいます。このたび、さらなる環境負荷低減を目指し、グループ初となるハイブリッドトラックを導入しました。

ハイブリッドトラックは、CO₂の低排出はもちろん、NOx・PMなどの有害物質の低減や低燃費の実現など、これまで以上に環境にやさしい車です。



「ecoる/ソーラー」の機能

- 発電状況を確認できるインディケーター
- ソーラーパネル
- ノンフロン・ヒートポンプ機能の搭載
- 最新の真空断熱材の使用
- 製品ディスプレイ部分にはLED照明を使用
- 人感センサーで、販売時のみ全点灯



株主インフォメーション



単元未満株式を処分したいのですが、
どうしたらいいですか？



A

当社株式の証券市場での取引は100株（1単元）単位となっており、単元未満株式（1～99株）を市場で売買することはできません。当社では「**単元未満株式買増制度**」及び「**単元未満株式買取制度**」を採用しておりますので、ご利用ください。

買増請求

株主様が、ご所有の単元未満株式を単元株式（100株）にするため、当社に対し株式を売り渡すよう請求する。

買取請求

株主様が、ご所有の単元未満株式を当社に対し、買い取るよう請求する。

買増・買取制度の例（460株ご所有の場合）

$$460 = 400(\text{単元株式}) + 60(\text{単元未満株式})$$

買増制度をご利用

40株買増し

単元株式
500株に

買取制度をご利用

60株当社が買取

単元株式
400株に

▼ 買取・買増請求のお手続きの窓口はこちらです。

証券会社の口座に
記録された株式

お取引の証券会社へご連絡いただき、買取・買増請求の取次ぎ
手続きを行ってください。

▶ お取引の
証券会社へ

特別口座に
記録された株式

特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にご連絡いた
だき、買取・買増請求の取次ぎ手続きを行ってください。

▶ 三菱UFJ
信託銀行へ

単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券口座への振替請求における必要書類の入手・お手続きの詳細については、右記三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
[受付時間（土・日・祝祭日を除く）平日9:00～17:00]

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711
(フリーダイヤル)



特別口座にある株式を証券会社の口座に
振り替えたいのですが…



A

株券電子化により、証券会社の口座にお預けにならなかった当社株式は三菱UFJ信託銀行にある「特別口座」にて管理しています。「特別口座」では株式の売買はできません。証券会社の口座に移管されることをお勧めします。単元未満株式についても振替が可能です。（お手続きの詳細は下記の移管方法をご覧ください。）

「特別口座」から証券会社の口座に移管する方法

- 1 証券会社に口座を開設する。
※すでに証券会社に口座をお持ちであれば、新たに開設の必要はありません。
- 2 三菱UFJ信託銀行に、
振替用の請求用紙を請求する。
※ホームページからも印刷可能です。
URL : http://www.tr.muftg.jp/daikou/tetsuzuki_01.html
- 3 請求用紙に必要事項を記入・押印して、
三菱UFJ信託銀行に送付する。
送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 4 手続きは完了です。証券会社の口座に株式が移管されます。
(所定の日数がわかりますのでご了承ください。)



▶ 株主優待制度のご案内



(写真の製品と異なる場合があります。)

毎年6月30日、12月31日現在の株主のみなさまに、当社製品を贈呈しております。

● 贈呈基準

100株以上500株未満
保有されている株主さま

720円相当の
当社製品

500株以上
保有されている株主さま

2,880円相当の
当社製品

● 贈呈時期

◆ 6月30日現在の株主さま
…………… 9月中旬

◆ 12月31日現在の株主さま
…………… 4月初旬

2010年 ● 下半期新製品のご紹介 ●

7月発売

ファンタ ファンミックス

コーラとオレンジをミックスした
試すにはいられない未知の味

大人気のオレンジフレーバーにぴったりの独自のコーラフレーバーをミックスした爽やかで甘酸っぱい新感覚のおいしさ。「どんな味がするんだろう!？」というわくわく感で友達との会話も弾みます。



7月発売

い・ろ・は・す みかん

おいしくて環境にいい天然水に
みかんフレーバーが新登場

天然水「い・ろ・は・す」に、日本人に広く親しまれ愛されている果物、温州みかんエキスが入った清涼飲料水。省資源を実現した“しぼれる”12gのプラントボトル採用。CO₂の排出を抑えて、自然環境への負担を軽減します。



9月発売

アクエリアス スパークリング ゼロ

ココロとカラダを元気にする
ゼロkcalの新スポーツ炭酸

元気サポート成分「BCAA・クエン酸・D-リボース」を配合した、カロリーオフで飲みやすいレモン&ライムフレーバーのスポーツ炭酸飲料。パブスムーサーを配合し炭酸の刺激を低減しました。



9月発売

Qoo おうちでつくるQoo グレープ

牛乳と混ぜたりアイスにかけたり
新しい楽しみ方がたくさん

水と混ぜると3LのQooグレープを作ることができる希釈タイプの果汁飲料です。

水だけでなく、牛乳や炭酸水と混ぜたりヨーグルトやアイスクリームにかけたり、新しい飲み方をお楽しみください。



9月発売

ジョージア プロ野球オールスターズ シリーズ プロ野球の歴史を彩った 各年代のスタープレーヤーが勢ぞろい

OBから現役まで12球団のスタープレーヤーの肖像を活用したダイナミックな8種類のパッケージで登場。コーヒーの苦味と酸味のバランスの取れたしっかりした味わいを楽しめます。



9月発売

紅茶花伝 アーモンドキャラメル ロイヤルミルクティー

大人のための贅沢なデザートミルクティー

アーモンドとキャラメルが織り成すスイーツのような香りをのせた、なめらかな味わいのデザートミルクティーです。アッサム茶葉100%、国産牛乳100%にバニラビーンズを使用し、濃厚な味わいに仕上げました。



10月発売

ジョージア ご褒美ブレイク とろけるカフェオレ

仕事中的気分のリフレッシュや
休憩中のリラックスにおすすめ

圧搾抽出製法で、豆本来のうまみがコクのある喉ごしと飲みごたえを実現しました。コーヒーの香りの余韻にコクを強化したミルクの味わいが広がります。仕事や休憩の気分転換におすすめです。



10月発売

ファンタ ワールド LA ハードロック アップル

ファンタ ワールドシリーズ
今度の舞台はロサンゼルス

アメリカ西海岸の陽気で明るい調子のロックとファンタの楽しさが融合したさっぱりしてジューシーなアップルフレーバーの登場。世代を選ばず人気の高いアップルは炭酸との相性も抜群です。



8月リニューアル発売

ジョージア ヨーロピアン コクの微糖

しっかりしたコクのある味わいの
No1微糖コーヒー

新しい“ヨーロピアン コクの微糖”の味わいが、ヨーロッパのシェフ・ソムリエが集まるiTQi（国際味覚機構）の主催のブラインド味覚評価で優秀味覚賞を受賞しました。



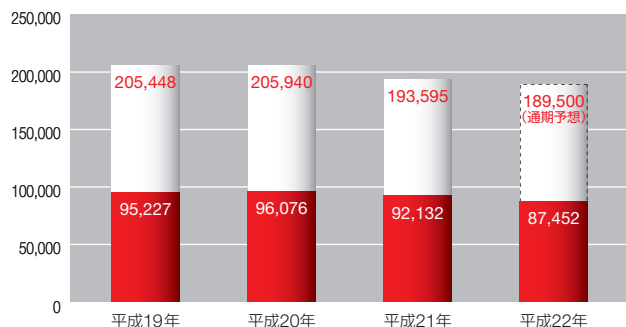
“でら! ジョージア”
デザイン缶 今秋から
中京地区で発売



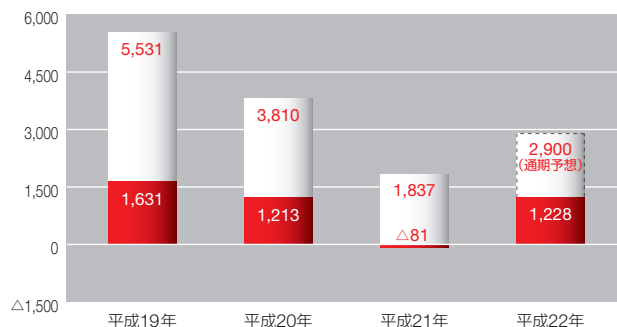
財務ハイライト

■ 第2四半期 □ 通期

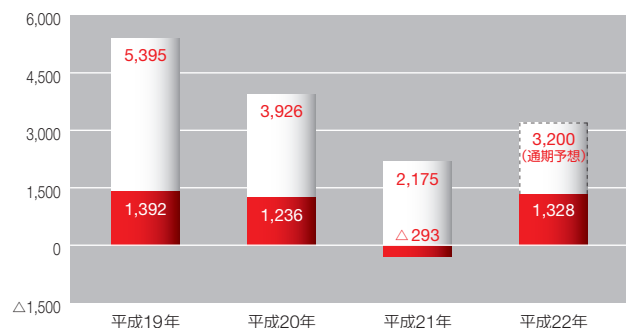
連結売上高 (百万円)



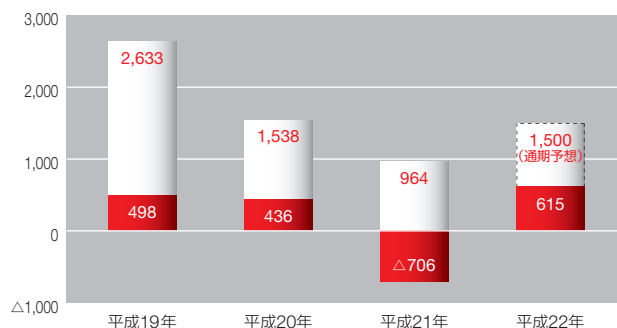
連結営業損益 (百万円)



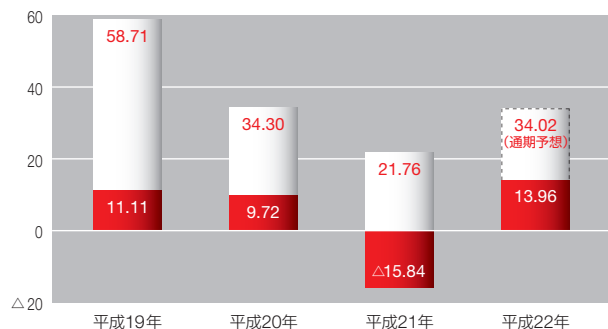
連結経常損益 (百万円)



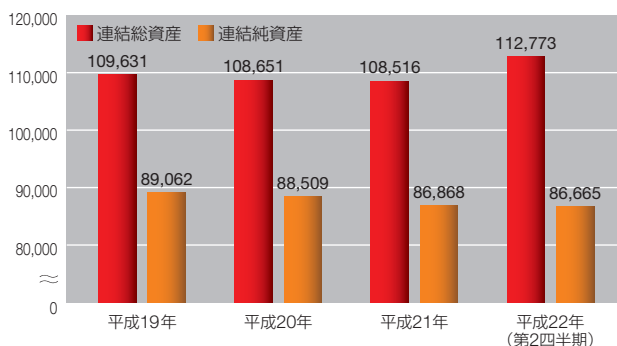
連結当期純損益 (百万円)



1株当たり連結当期純損益 (円)



連結総資産 / 連結純資産 (百万円)



※平成21年1月4日付をもって1株を500株に分割いたしました。
過去の数字におきましても、比較のため分割後の数字に換算して表示しております。

上半期の営業概況

販売施策

販売面におきましては、重点ブランド「コカ・コーラ」「コカ・コーラゼロ」「ファンタ」「ジョージア」「爽健美茶」「アクエリアス」に、緑茶飲料の「綾鷹(あやたか)」「ミネラルウォーター「い・ろ・は・す」を加えたビッグ6+2を中心に積極的な販売活動を展開いたしました。ブランド別には、微糖缶コーヒー市場におけるジョージアのシェア拡大を狙った「ジョージアエメラルドマウンテンブレンド アドバンス」の発売、「爽健美茶」ならびに「い・ろ・は・す」は、消費者の高まる環境意識に対応し、素材の一部を植物由来とした新ボトル「プラントボトル」を採用し環境配慮型の製品にリニューアルいたしました。販売重点活動といたしまして、更なるブランド価値向上を狙ったコカ・コーラゼロのリニューアルやFIFAワールドカップ™をテーマとしたマーチャンダイジング活動の強化を図りました。

生産・物流施策

生産・物流面におきましては、社内SCM体制の見直しとして、コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社を中心としたSCM体制の強化を図り、また更なる効率の追求と生産性の向上によるコスト削減を実現するため、業務が密接に関連する「SCM部」と「物流部」の両部を本年度より「SCM部」に統合いたしました。物流拠点では、静岡県西部に共配センター専用拠点を新設し、各拠点からの配送業務の集約による効率化と安定オペレーションを実現いたしました。製造設備では、名古屋工場にて地球環境に配慮したエネルギー負荷の少ないローララベル方式への切替工事を実施いたしました。

CSR活動

お客様に安全な商品をご提供することを最重要経営課題と位置づけ、経営理念の従業員への徹底を図り、さらにコンプライアンスの徹底の一環として、品質管理に関する研修会を実施する等、従業員一人ひとりの意識向上に努めました。また、環境中期目標(2009年～2012年)に基づき、CO₂・水・廃棄物の環境負荷低減に向けた活動を推進するとともに、地域貢献活動としてスポーツ・文化イベント等への協力・支援を積極的に行いました。

業績について

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は874億52百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は12億28百万円(前年同期比13億9百万円増)、経常利益は13億28百万円(前年同期比16億22百万円増)、四半期純利益は6億15百万円(前年同期比13億21百万円増)となりました。

四半期連結財務諸表の要旨

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前年同四半期	前期
	平成22年6月30日現在	平成21年6月30日現在	平成21年12月31日現在
資産の部			
流動資産	43,297	40,130	37,376
固定資産	69,475	74,670	71,139
有形固定資産	56,613	60,756	57,676
無形固定資産	1,318	1,787	1,538
投資その他の資産	11,543	12,125	11,924
資産合計	112,773	114,800	108,516 ※1
負債の部			
流動負債	20,191	21,392	14,820
固定負債	5,916	7,367	6,827
負債合計	26,107	28,760	21,647 ※2
純資産の部			
株主資本	86,630	85,926	86,802
資本金	6,499	6,499	6,499
資本剰余金	24,818	24,819	24,819
利益剰余金	56,537	55,838	56,715
自己株式	△1,225	△1,231	△1,232
評価・換算差額等	5	107	43
その他有価証券評価差額金	5	107	43
新株予約権	30	7	22
純資産合計	86,665	86,040	86,868 ※3
負債及び純資産合計	112,773	114,800	108,516

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前年同四半期	前期
	平成22年1月 1日から 平成22年6月30日まで	平成21年1月 1日から 平成21年6月30日まで	平成21年 1月 1日から 平成21年12月31日まで
売上高	87,452	92,132	193,595 ※4
売上原価	53,652	57,716	121,690
売上総利益	33,799	34,415	71,905
販売費及び一般管理費	32,571	34,497	70,067
営業損益	1,228	△ 81	1,837 ※5
営業外収益	246	116	464
営業外費用	145	328	126
経常損益	1,328	△ 293	2,175 ※5
特別利益	5	10	581
特別損失	299	546	864
税金等調整前四半期(当期)純損益	1,034	△ 830	1,892
法人税、住民税及び事業税	259	348	795
法人税等調整額	159	△ 472	133
四半期(当期)純損益	615	△ 706	964 ※6

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前年同四半期	前期
	平成22年1月 1日から 平成22年6月30日まで	平成21年1月 1日から 平成21年6月30日まで	平成21年 1月 1日から 平成21年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,555	195	17,148 ※7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,517	△4,721	△12,351 ※8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,489	3,850	△4,255 ※9
現金及び現金同等物の増加・減少額	548	△675	541
現金及び現金同等物の期首残高	5,978	5,437	5,437
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	6,527	4,761	5,978

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

※1 資産

前期末に比べ42億56百万円増加し1,127億73百万円となりました。これは主として売掛金や貸付金が増加したこと等によるものです。

※2 負債

前期末に比べ44億59百万円増加し261億7百万円となりました。これは主として、買掛金が増加したこと等によるものです。

※3 純資産

前期末に比べ2億3百万円減少し866億65百万円となりました。これは主として配当金の支払によるものであります。

※4 売上高

販売競争の激化や、個人消費の低迷によるスーパーを中心とした手売りチャネルでの買い控えの影響等もあり、売上高は874億52百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

※5 営業損益・経常損益

生産・物流面での効率の追求と生産性の向上や、諸経費の圧縮に取り組んだ結果、コスト削減面で効果を出すことができ、営業利益は12億28百万円、経常利益は13億28百万円となりました。

※6 四半期純損益

経常利益が増加したこと等により、四半期純利益は6億15百万円となりました。

※7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による収入は、主として減価償却費や仕入債務の増加があったこと等により、85億55百万円(前年同期比83億60百万円収入増)となりました。

※8 投資活動によるキャッシュ・フロー

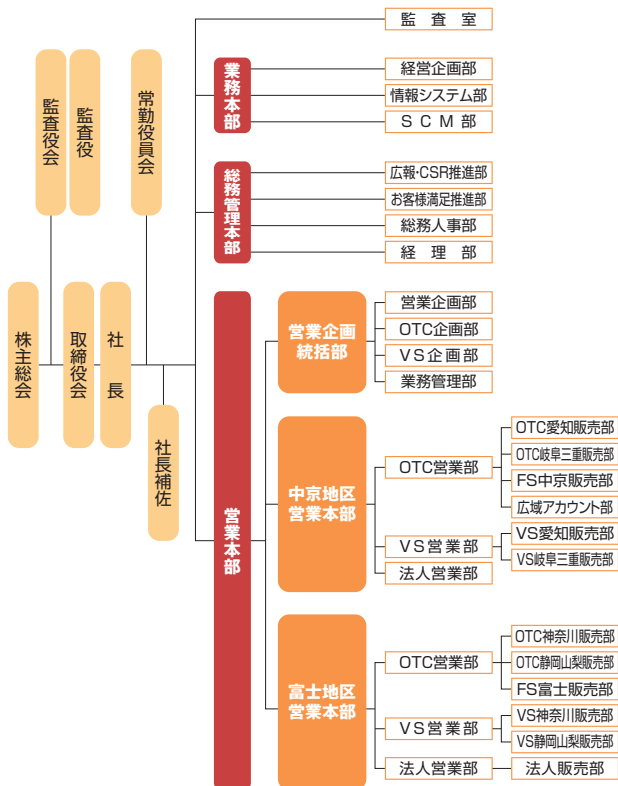
投資活動による支出は、主として販売機器などの有形固定資産の取得や、短期貸付金の増加があったこと等により、△65億17百万円(前年同期比17億95百万円支出増)となりました。

※9 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による支出は、主として配当金の支払があったこと等により、△14億89百万円(前年同期比53億39百万円支出増)となりました。

経営体制 (平成22年6月30日現在)

組織図



グループ会社

- セントラルジャパンロジスティクス株式会社
清涼飲料等の配送
- セントラル ジャパン テクノサービス株式会社
販売機器の保守、修理
- エフ・ヴィセントラル株式会社
自動販売機による飲料等の販売
- コカ・コーラセントラルジャパンプロダクツ株式会社
清涼飲料の製造
- コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社
(関連会社)
清涼飲料の製造

役員

取締役

代表取締役社長	高橋 顕三	
取締役専務執行役員	河合 幸夫	社長補佐、関係会社担当
取締役専務執行役員	須方 信雄	総務管理本部長、内部統制担当
取締役常務執行役員	大野 利秋	営業本部長
取締役常務執行役員	尾崎 昭宗	業務本部長
取締役常務執行役員	楢井 幸夫	中京地区営業本部長
取締役	三須 和泰	三菱商事株式会社 食品本部長
取締役	米井 元一	株式会社明治屋 代表取締役社長
取締役	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ株式会社 取締役会長
取締役	碓田 聖史	三菱重工食品包装機械株式会社 代表取締役社長

監査役

常勤監査役	荒川 利行	
常勤監査役	近藤 良雄	
監査役	谷村 信哉	三菱商事株式会社 機械グループCEOオフィス室長
監査役	内田 良一	三菱商事株式会社 生活産業グループ管理部長

執行役員

常務執行役員	島田 勝一	広報・CSR推進部長
執行役員	鈴木 孝男	SCM部長
執行役員	野々山 和博	富士地区営業本部長
執行役員	和田 房行	富士地区営業本部法人営業部長 兼 法人販売部長
執行役員	今宮 誠	中京地区営業本部副本部長 兼 OTC営業部長 兼 OTC岐阜三重販売部長
執行役員	鎌田 勝	営業企画統括部長

株式の状況 (平成22年6月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	171,000,000株
発行済株式の総数	45,003,495株
株主数	13,901名

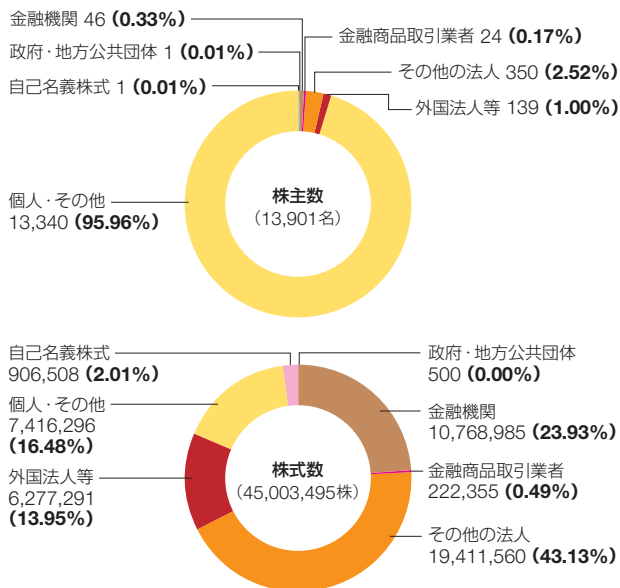
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三菱商事株式会社	10,118,125	22.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社退職給付信託(明治屋口)	3,287,700	7.30
THE COCA COLA EXPORT CO.	2,250,500	5.00
キリンホールディングス株式会社	2,102,970	4.67
三菱重工業株式会社	2,047,425	4.54
東洋製罐株式会社	1,878,545	4.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,172,200	2.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	835,800	1.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	813,205	1.80
株式会社秋田屋	652,825	1.45

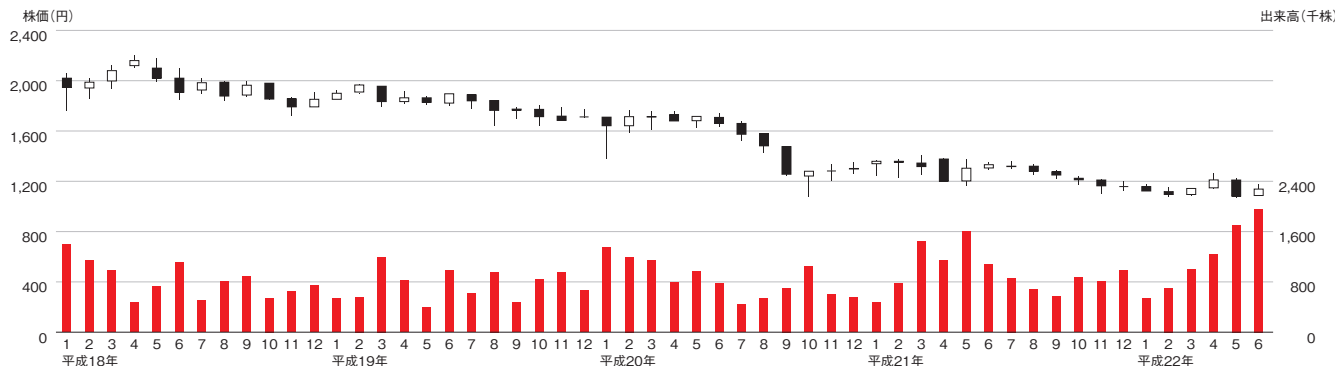
※1 出資比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

※2 当社は、自己株式を906,508株保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株主分布状況



株価および出来高の推移



※1 平成21年1月4日付をもって1株を500株に分割するとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を導入いたしました。

※2 平成18年1月から平成20年12月までの株価および出来高につきましては、遡って株式分割したもとして表示しています。

会社の概要・株主メモ

会社の概要 (平成22年6月30日現在)

商号	コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 Coca-Cola Central Japan Co., Ltd.
本社所在地	〒220-8141 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
設立	平成13年6月29日
資本金	64億99百万円
上場取引所	東京証券取引所および名古屋証券取引所 各市場第一部
会計監査人	あずさ監査法人 (平成22年7月1日より、有限責任 あずさ監査法人)
格付け	A+ (シングルAプラス) 日本格付研究所 A (シングルA) 格付投資情報センター
事業内容	清涼飲料の製造、加工および販売等の事業
従業員数	連結2,716名、単体1,612名

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
剰余金の配当の 基準日	6月30日、12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 *ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときには、 日本経済新聞に公告いたします。 公告掲載URL http://www.cccj.co.jp/ir/koukoku/

お問合せ

証券口座で株式を 保有している株主さま

住所変更、買取・買増請求その他お手続き
につきましては、口座を開設されている証券
会社等にお問合せください。

特別口座で株式を 保有している株主さま

住所変更、買取・買増請求その他お手続き
につきましては、特別口座の口座管理機関
(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。

※なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問合せ先:

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 総務人人事部
〒220-8141 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
TEL. 045-222-5850 FAX. 045-222-5857



この報告書は、FSC認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わず「ECO綴じ」にて製本しています。